



Visual Identity Guideline



はじめに

本ガイドラインは、
株式会社 LANTERN のビジュアル・アイデンティティ（VI）を正しく運用し、
ブランドイメージの一貫性を保つためのルールを定めたものです。

VI は、私たちの思想や価値観を視覚的に伝え、
社内外のコミュニケーションを円滑にするための重要な資産です。

ここに記されたルールを遵守し、
LANTERN というブランドを社会と共に育んでいくため、
本ガイドラインをご活用ください

コンセプト | 社名「LANTERN」の由来

「LANTERN(ランタン)」は、
こころ動かす新しい発見を目指す、冒険と探究の象徴です。

私たちは、クライアントの課題に寄り添い、
テクノロジーとクリエイティブを用いて、
その手に携えられる“ランタン”として、可能性を照らし続けます。

私たちは、直接答えを示すのではなく、
可能性を浮かび上がらせ、自ら進む力を支えます。
決まった答えを押し付けるのではなく、
状況に応じた最適な方法で、共に考え、共に歩みます。

私たちは、成果へのプロセスを照らし、未知への一步を導く、
“こころ動かす新しい発見”を生み出す灯でありたいと考えています。

フィロソフィー | 大切にすること（パーパス・ミッション・ビジョン）

私たちが大切にすべき想いや行動のヒントであり、
私たちの“らしさ”を共有し、これからの歩みを照らす道しるべとなるもの。

WANT
どうありたいのか？

こころ
ゆたかに、
いきたい。

PURPOSE

自分らしく生きることを大切にし、
他者と共に支え合いながら成長したい。
内面から満たされる生き方を追求し、
心の豊かさが循環する、
よりよい人生を生きたいから、
私たちの会社は存在する。

WHY
なぜやるのか？

こころ動かす、
新しい発見を。

MISSION

新しい視点との出会いが、
人の心を動かし、行動を変え、
価値観を広げるきっかけになり、
本質的な幸せへとつながると信じている。
私たちは“発見”の機会をつくり、
人と組織の前進を支えていくことで、
こころゆたかにいきる未来を目指す。

WHAT
何を目指すのか？

明るい未来を
デザインし、
価値ある成長と
幸せを実現する。

VISION

一時的な成果や単なる物質的繁栄ではなく、
人と社会にとっての心の豊かさや意味のある成長を、
関わるすべての人々と共に目指していく。

フィロソフィー | 大切にすること（バリュー）

HOW

どのようにやるのか？

10の マインドセット

VALUE

好奇心を持とう

新しい問いを持ち、柔軟に考えよう。
好奇心は成長の原動力になり、
固定観念に囚われない柔軟な思考は、
新しい解決策を見つける力となる。

やってみよう

恐れず挑戦し、楽しむ姿勢があれば、
新たな成長のきっかけを見つけられる。
できるだろうか？ではなく、
どうしたらできるだろう？と考えよう。

学び続けよう

失敗からも成功からも学び、
日々努力を重ねて成長し続ける姿勢。
成長は自分自身を深め、
より豊かな人生を築く礎となる。

協力しよう

他者の意見や価値観に耳を傾け、
相手を理解し、尊重し合おう。
ひとりではできないことも、
みんなで力を合わせれば実現できる。

仲間を思いやろう

仲間のことを大切にする心が、
チーム全体を強くする。
人に寄り添う姿勢こそが
本質的な幸せをもたらす。

ところざしを持とう

「ところざし」は、目標に向かって進む心の指針。
人生の方向性を定め、日々の行動の基準となる。
自分の「ところざし」を持ち続け、
それに基づいた行動が人生を豊かにする。

つながりを大切にしよう

相手の立場に立ち、共感や尊重の気持ちを持ち
他者とのつながりを深めることで、
支え合い、互いに学び合う機会が増え、
心の豊かさが広がっていく。

ありがとうを伝えよう

積極的に感謝の気持ちを伝えれば、
周囲とのつながりが強まり、温かさを生み、
日々の関係を支え、自分も相手も心が豊かになる。

心を素直に震わせよう

ヒト・モノ・コトに心を素直に震わせよう。
あなたの感動は行動の原動力になり、
心が揺さぶられる瞬間は、人生を豊かにする大切な要素になる。

自分を好きでいよう

自分を好きでいることで、はじめて他人にやさしくできる。
自分が好きでなければ、他人と比較し批判的になる。
自分との関係がうまくいっているなら、他人との関係もうまくいく。



シンボルマーク

ろうそくの炎やランタンの灯りを想起させる、
有機的で常に変化するようなフォルム。

人のぬくもりや生命感、
多様な個性が共鳴しあう様を象徴しており、
「新しい発見や感動のもととなるとしび」
という意味が込められています。



ロゴタイプ

シンボルマークに呼応するように、
一部のラインがわずかに揺らいでいます。

太めのウェイトからなる芯の強さの中にも、
固すぎない自由さや遊び心を含み、
あらゆる制約を超え、
発見と感動を生み出す原動力となる
柔軟な発想を表しています。

LANTERN

● ロゴマーク | シンボルマークとロゴタイプの組み合わせ

基本となる組み合わせは右の通りです。
比率や位置関係は固定とし、
提供されたデータを使用してください。



🔥 アイソレーションエリア

ロゴの使用にあたっては、
ロゴがしっかりと見えるように、
文字や図形など他の要素を
できるだけ離します。

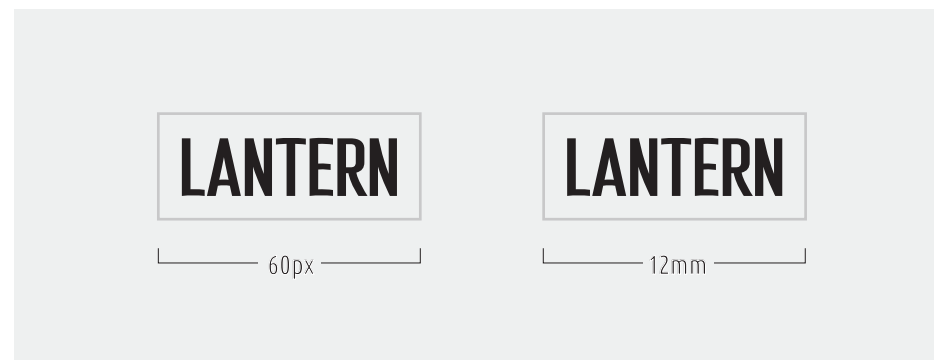
アイソレーションエリアには、
他の要素を入れないようにしてください。



最小サイズ

ロゴのディテールや
可読性を損なわないため、
最小サイズ規定を守ってください。
(推奨値として、媒体に応じて調整してください)

最小サイズには、
アイソレーションエリアが含まれます。



ロゴタイプの最小サイズは、ディスプレイ表示で 60px、印刷物で 12mm です。



ロゴマークの最小サイズは、ディスプレイ表示で 100px、印刷物で 28mm です。

基本色

白い背景に基本色を載せたものを基本とし、
背景色に応じて白いロゴを使用します。



LANTERN Yellow	RGB	230 180 30
	HEX	E8B91F
	CMYK	10 30 90 0

LANTERN Black	RGB	xxxxxx
	HEX	202008
	CMYK	80 74 100 64

LANTERN Orange	RGB	220 100 30
	HEX	DE6A25
	CMYK	10 70 90 0



禁止事項

各制作物の表現に関わらず、
いつでも安定して正しく表すようにします。

本ページに例として挙げるような正しく
コミュニケーションできない表現は避けます。



アイソレーションエリアには
オブジェクトを配置しないこと



規定の縦横比から変形しないこと



規定の比率以外で組み合わせないこと



影など過剰な効果を加えないこと



縁取り・くくり文字を使用しないこと



別の書体を使用しない



Graphic

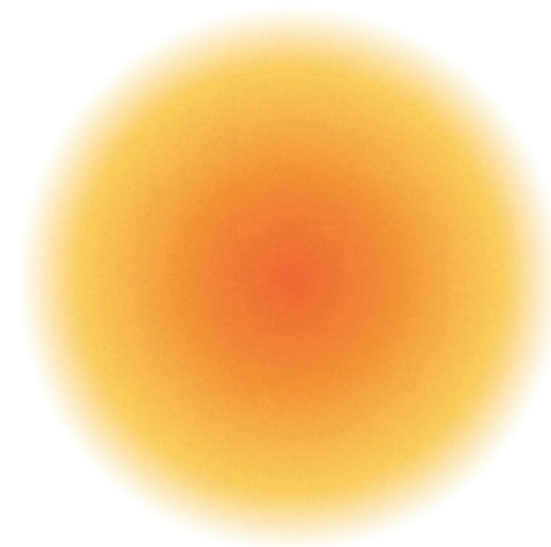
グラフィック

● サブグラフィック

シンボルマークから派生したグラフィック要素です。
「ともしびから生まれる発見」「発見によるこころの動き」
を意味し、様々なデザイン展開において、
ブランドの思想を補強する役割を持ちます。



ともしびから生まれる発見

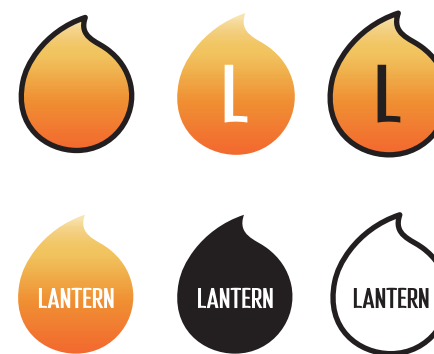


発見による心の動き

パターン

ロゴの禁止事項で規定される使用方法に対し、SNS のプロフィールアイコンや Web サイトのファビコンなど、限定されたスペースで機能する「アイコン」や「バッジ」として、例外的に展開パターンを設けます。

これらのパターンを使用する際は、ブランドを損なわないよう、意図を深く理解した上で慎重に適用してください。



ロゴマークと文字の組み合わせによるアイコン展開



囲み線によるアイコン・バッジ化



Color Palette

カラーパレット

プライマリーカラー

ブランドに関わる制作物に使用される、
基本となるカラーです。LANTERN という
ブランドの土台を築きます。

White

RGB 255 255 255
HEX FFFFFFFF
CMYK 0 0 0 0

LANTERN Black

RGB 20 24 0
HEX 202008
CMYK 80 74 100 64

LANTERN Canvas

RGB 245 242 235
HEX F5F2EB
CMYK 6 6 10 0

「帆布（キャンバス）」を想起させ、
冒険の始まりを感じさせます。
同時に、新しいアイデアや発見を描いていく
「白紙のキャンバス」という意味も込めています。

アクセントカラー

プライマリーカラーは土台を築くのに対し、
アクセントカラーは最も象徴的な個性を
表現します。

温かみや好奇心、発見や希望といった
ブランドが提供する最も重要な価値を伝えます。

これら2色のグラデーションにより、
ぬくもりや生命感、多様な個性が共鳴しあう様を
強調することもできます。

LANTERN Yellow

RGB 235 190 26
HEX EBBE1A
CMYK 10 30 90 0

LANTERN Orange

RGB 235 140 30
HEX EB8C1E
CMYK 10 70 90 0

色の割合

配色の際は、プライマリーカラーである「LANTERN Canvas」もしくは「White / LANTERN Black」が最も広い面積を占め、アクセントカラーが最大 10% 程度で加わるように割合を設定します。

アクセントカラー（LANTERN Orange / LANTERN Yellow）は、媒体ごとのアクセシビリティや、背景色とのコントラストなどを考慮して柔軟に決定します。

グラデーションや、グラフィックパターンとしての利用を除き、アクセントカラーとして複数色を同時に個別の要素として使用することは原則として避けてください。

